

ポム・ド・パン

2018
May
vol. 26

- 障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
- グループホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地1 TEL・FAX 087(888)2557

管理者 松原 正子

- 発行／社会福祉法人ポム・ド・パン
- 発行日／2018年5月31日

世界自閉症啓発デー/発達障害啓発週間

(毎年4月2日)

(毎年4月2日～8日)

啓発パレード



啓発グッズ配布



★毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」であり、2日から8日は自閉症を含む発達障害の啓発週間です。啓発週間中は、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ(ブルーは、いやしの色、希望の色としてイメージカラーです)等を行っています。

★ウインドヒルでは、県庁本館ギャラリーに啓発資料や作品の展示、県庁を出し高松商店街をのぼりや横断幕を掲げて行進し、啓発グッズの配布を行いました。自閉症を含む発達障害について知っていただけるよう、知るきっかけ作りができるように、これからも活動を続けていきます。2009年からキャンペーン始動をはじめ、2012年(H20)からパレードを実施するようになりました。今年は7回目となりました。各県、各地区で啓発活動が行われています。

QR 啓発デー



世界自閉症啓発デー
日本実行委員会公式サイト

<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

ポム・ド・パンの理念

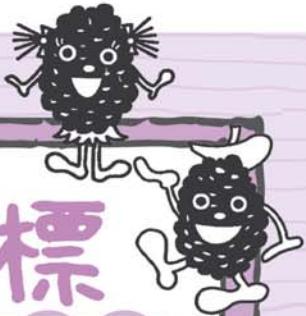
障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

平成30年度 各ユニット目標



✿ ユニットの紹介 ✿ 今年度の目標 ✿ ユニット別作品(歌のタイトルを絵で表現。毎年1枚、ユニット毎に大作を仕上げています。)

A棟



「線路は続くよどこまでも」

✿ ユニットの紹介

A棟ユニットは、6ユニットのうち唯一女性のみのユニットです。利用者9名、一人ひとり個性が強く日々にぎやか&女性パワー全開です。いつも笑い声が絶えない、明るいユニットです。

✿ 今年度の目標

障害を持っていても、大人の女性として身だしなみ、マナー(言葉遣い、食事の作法等)、挨拶を心がけています。明るい豊かな生活、快適な生活環境、健康維持には配慮し一人ひとりの特性、ニーズに合わせて楽しめる内容を提供していくことに努めています。

✿ ユニットの紹介

B1ユニットは、ウインドヒルの中でも特に個性の強い9名の利用者がいます。日々の活動や生活を通して、「座る・静かに待つ・話を聞く」という事ができるようになると願い、長い年月をかけて関わった結果かなりできるようになってきており、活動の幅も広がってきています。

✿ 今年度の目標

B1ユニットの利用者の方は、静かに・座って・待つという事がかなりできるようになってきていますが、仲間を意識しての集団活動としてはまだまだ課題が多いです。今年は個人的ではなく、集団として少しでも周囲を意識して行動できることを目標として関わっています。

B1棟



「シンブルベル」

B2棟



「上を向いて歩こう」

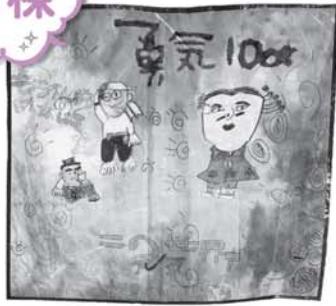
✿ ユニットの紹介

普段は静かなユニットです。一輪車満杯で土を運ぶ力持ち、熱烈なウルトラマンファンや日向ぼっこが大好きな人、チョット怒りんばさんなど個性豊かでバラエティーに富んでいます。時たま元気が良すぎて利用者どうしてケンカになる時もありますが、作業の時はスコップで相手の一輪車に土をいれてあげたり、狭い通路でも順番を譲りあったりと協力することが身についています。個性はバラバラですが不思議とまとまっているユニットです。

✿ 今年度の目標

「おはよう」「ありがとう」「はい」「いいえ」「さようなら」等、生活のメリハリを少しでも言葉で表現出来る様な活気のあるユニットに導いていくこう思います。まずは朝の「おはよう」から私もしっかりと元気に挨拶ができるることを目標にします。

C1棟



「勇気100%」

✿ ユニットの紹介

利用者個々の特徴は数多くあり、障害特性の質・量はみごとなものです。しかし、ここ一発のまとめは他のユニットには負けておりません。日々、アクシデントはありますが、笑ってしまう場面も多く楽しいユニットです。

✿ 今年度の目標

食事、余暇と様々な活動において“姿勢の美しさ”に挑戦していきたいと思います。その為に利用者、職員共に座る姿勢を意識できるよう、楽しい雰囲気作りを心掛けたいと思います。

✿ ユニットの紹介

一人一人の個性がはっきりしていて、それぞれが存在感を主張するユニットです。そして笑顔が素敵な8名です。聞いていないようで、何事もよく聞いていてびっくりすることがよくあります。

✿ 今年度の目標

“身だしなみを整える” 気候に合った服装のカッコイイ C2 利用者を目指します。季節の変わり目が曖昧になってきているため、毎日の衣類の適切な選択ができる様にしていきます。



「ドラえもん」

D棟



「ひょっこりひょうたん島」

✿ ユニットの紹介

広島カープの大ファン ⇒ Mさん
スポーツなら何でも来い ⇒ Jさん
歌が上手な ⇒ Tさん
ダイエットが大成功の ⇒ Tさん
みんな自分の良い所を生活の中で発揮してくれて、6人が揃うなんでもできる力があります。

工作得意な器用な ⇒ Kさん
お掃除上手な ⇒ Kさん
みんな自分の良い所を生活の中で発揮してくれて、6人が揃うなんでもできる力があります。

✿ 今年度の目標

「どのユニットよりもピカピカで整理整頓のできた気持ちのいいユニットを目指します。僕たちはお掃除が得意です。」

✿ ユニットの紹介

朝、夕は職員や世話人の支援を受け自分たちの食事の準備を行っています。日中は就労B型支援事業のサービスを受けています。自立を目指して日々取り組んでいますが、必ず一人で困ることがなく早期に解決できる事を目標とした環境の中で、生活しています。

✿ 今年度の目標

現在8名で生活をしています。日々8つの個性が1つの集団となり共同生活を送っています。楽しい事や良い事ばかりではありません。その中で、利用者の自己決定を尊重しながら、共同生活を円滑に行える事を目標にしています。生活の基盤、建物内の清潔保持を継続します。



風見の家

ウインドヒル・風見の家の主な行事

3/28
(水)

水仙ロード

ウインドヒルの水仙ロード散策行事に孫と孫の友達と三人で初めて参加しました。山道では、利用者さんと一緒に歩きました。利用者さんと話すことはできませんでしたが、並んで歩くことで利用者さんの優しさを感じ、安心して歩くことができました。今年は桜の開花が早かったようで、大きな桜の木は満開でした。孫たちは舞い散る桜に大はしゃぎ、美しい桜をスマートフォンにたくさん撮り收めました。帰りの道中では、つくしを見つけみんなで採りました。その後、二人一組になり手遊びをし、輪になって春の歌をみんなで歌いました。私にも、孫たちにとってもとても楽しい花見になりました。

参加者代表 林地区 太田 哲子

1/9 火
12 金

初詣

頭上で振られる大幣の音しか聞こえない張り詰めた空気の中、みんなの動きがぴたりと止まりました。場の雰囲気を感じ取る力、感情と行動をコントロールできる力、日々の生活で身に付けているものの多さを目の当たりにし、感動と感謝の気持ちを強くしました。

参拝後、登山道から見た景色はどこまでも広く美しく、子ども達の穏やかで幸せな今的生活も、この景色同様ずっと続きますようにと祈らずにはいられませんでした。

保護者 木内 真由美

2/20
(火)

みんなで日山登山

年に一度、みんなで登る日山は、参加利用者と地域の方々とのふれあいをもたらしてくれています。穏やかな天候の元、職員と共に息を弾ませ登る姿は年々力強さを増し、そして、挨拶をしたり道を譲ったりといった行動に地域の方々が笑顔に向けて下さることが、とても嬉しく思う行事となっています。



生活支援員 松原 美恵

3/15
(木)

ひなまつりお茶会

先日、ひな祭りに参加しました。和菓子を食べきらい抹茶も美味しそうにいただいている利用者の様子は、ほほえましく感じました。お茶会の作法を経験することで、日本の文化を感じてくれたと思います。私も何十年ぶりかでお抹茶を点てられて楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。

保護者 細川 文子

1/23
(火)

出前スポーツ教室

今年もかがわ総合リハビリテーション福祉センターの講師、藤尾氏、岡崎氏を招いて「出前スポーツ教室」としてフライングディスクを行いました。2年前よりも一步、踏み込んだ形での実施を依頼し、ディスクの投げ方、持ち方、工夫のポイントなど各利用者毎に丁寧に指導頂きました。全体を通して言える事はディスクを握る力が弱くまっすぐに跳ばなかったり、遠投ができるない利用者が多く、ディスクを強く引つ張り合ってトレーニングするなど課題も見つかりました。次回の大会に向けて楽し練習していきます。

主任生活支援員 村川 文生

3/9
(金)

施設対抗ボーリング大会

丸亀スターポールにて施設交流ボウリング大会が開催されました。ピンクポロシャツに着替えていざ出発です。どの施設も笑顔がこぼれる利用者さんはばかりで、見ているこちらもつられて笑顔になってしまいました。男子団体3位、男子個人3位という成績に、大満足の一 日を過ごすことができました。



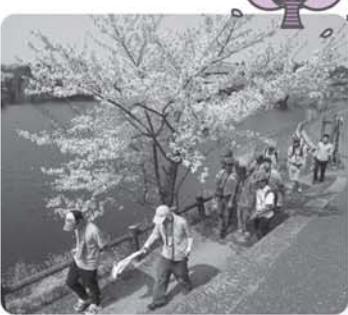
生活支援員 安倍 晶子

4/3 火・5木
・6金

花見

3月中旬から暖かかった事で満開の時期を過ぎていた事やひとグループが雨天中止とハブニングがあったりしましたが急遽中止の予定変更にも落ち着いて過せていた事は利用者の成長を感じました。来年は是非快晴・満開を期待したいと思います。

生活支援員 吉本 唯人



防災訓練

かまどベンチ体験シミュレーション

高松北ロータリークラブ様よりご寄附いただいた「かまどベンチ」で災害時を想定してみんなで体験しました。炊き出しを行うところから調理、食事、片付けと実際に体験する事で多くの学びがありました。災害時には、自治会、三谷コミュニティー、社会福祉法人とが、三位一体となり、それぞれに強みを出しあい、足らばは補い合えるように「みんなで生き残る知恵を出し合いました」。三谷の地に来て14年。皆さんと培ってきた絆を大事にし、困難を乗り越えていきたいです。高松北ロータリークラブ様には、そのきっかけを与えていただき、ありがとうございました。



普段はベンチとして使用しています



災害時は炊き出しの“かまど”に大変身!



炊き出しは利用者さんも一緒に体験



共感をもって関わるために
太田ステージをとおして発達に合った心の世界を知る

「障害特性を活かす・共感をもっての関わり方」

心の発達研究所・親子相談センター、日本自閉症協会専門相談員/臨床心理士 武藤 直子先生

参加者 感想抜粋

- 就労支援をしています。最近は発達障害の方の相談が増えています。肯定的指示、具体的な言葉に言い換えること等、勉強になりました。会社の方にも対応をしていただけるようにしていきたいと思います。
- 改めて、幼い頃よりこだわりや癖などの意味を知り、親として子供の動作の意味をどのくらい理解していただろうと考えさせられました。今一度、太田ステージについても紹介して頂き子供とまた新鮮な気持ちで向き合うことが出来そうです。ありがとうございました。また、このような機会を作つて頂けたらと思います。
- 初参加です。自身の家族にはいませんが、理解を深めたい気持ちで参加しました。『特性を活かす』ということで、ステージがある事、またその段階での支援が違う事、初耳だったのでとても勉強になりました。自分の子育てにも通じる事が多々だと思うので、今日から実践しようと思います。
- 改めて自閉症の特性について詳しく知る事ができ、大変勉強になりました。「なぜだろう?」と思っていた息子(3歳半)の体調変化などの繋がりも分かり心が少しずつ大きくなっています。最近息子との関わり方について少々つまづいていたので今回のお話すごくためになりました。参考にさせていただきます。ありがとうございました。

レジメより抜粋

まとめ

- 自閉症は特に親を障害の原因とした歴史がある。今では脳機能の障害原因の結果
- 障害の特性:発達障害の中でも自閉症は理解されにくい。記憶は良く、でも意味の理解難
- 共感をもって関わるには、子どもの状態を知ることが役立つ(特性、発達)
→太田ステージの紹介
- 子育てはマイナスばかりではなく、自己成長に障害≠不幸 多様な選択肢のある社会の実現



保護者(幼児～成人)、施設職員、保育所・幼稚園・小学校職員、行政職員、関係機関職員、クリニック職員、多方面から約90名のご参加ありがとうございました。

職員研修



• 1月26日(金) 虐待防止研修(スタッフ)

生活支援員 白井 麻美

高松市の職員による虐待防止研修をスタッフが受けました。障害者虐待の状況や過去の虐待事例を分かりやすく紹介して頂き、支援する私たちがどうすればいいのか、虐待防止の為の取り組みを話し合いました。身体的には勿論、利用者さんの心が傷つくことがないよう、これからも利用者・職員ともに楽しく、笑顔で過ごせるウインドヒルを作っていくと再認識しました。貴重な時間をありがとうございました。

• 2月9日(金) 救急処置実習

主任看護師 金川 恵子

日本赤十字社香川支部のボランティア指導員の方に来て頂いて三角巾を使用しての様々な応急処置の仕方や身近なもの(新聞紙、雑誌、ガムテープ、ストッキングなど)を利用しての応急処置の仕方などその場に物がなくても応急処置ができる教わりました。このような研修が定期的に実施できればと思いました。

例) ストッキングで三角巾。毛布やシーツで担架。

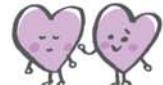
新聞紙とガムテープでギブス。



出張報告

• 1月19日(金) 人材育成研修会

主任栄養士 堀 仁美



「アンガーマネジメント」とは、怒りを抑えたり、我慢したり、怒らないようにするのではなく、怒りの感情を弱めて、その感情を抱えながらも安全に生活を送ることができるようとする手法であるとのことでした。安定した感情で業務に臨むことは、対利用者だけでなく職員間のコミュニケーションも円滑に保つことができ、より良い支援の提供につながるのだと思います。今回学んだことを活かし、自分の感情と上手に付き合っていくように努めたいと思います。

• 1月29日(月) 障害者支援施設部会全国大会 高知

生活支援員 松田 仁美

1月29日(月)～30日(火)の2日間、高知にて「障害者支援施設部会全国大会 四国地区高知大会」参加させて頂きました。テーマ「新たな夜明け、そして現在」について、講師の方々にたくさんお話を聞くことができました。今後、障害者支援施設のあり方について、今回の講義を受けさせていただいたことで考えさせられた機会でもあり何より、障害のあるなしに関わらず、互いの個性を認め、支え合って安心して暮らせるよう支援に努めたいと強く思いました。2日間、ありがとうございました。

• 2月8日(木) 三溪幼稚園 講演会

管理者 松原 正子

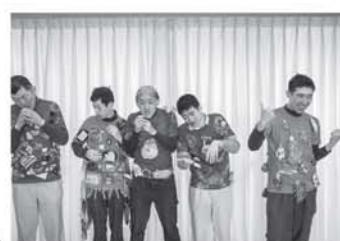


『子どもの人権、障害者の人権の視点からの講演』という演題を頂きました。各幼稚園、保育所も特別な支援を必要とする子供たちが増え、それに伴い保護者の悩みも多様化してきました。36歳の自閉症の保護者としての視点から、支援が必要なお子様の保護者には子育てに意欲が湧くように、他の保護者には心のバリアフリーにつながり、温かく向き合おうとする気持ちが生まれるようにと願い、話を進めました。参加保護者さんからの感想として、・『愛される人』に我が子を育てていくうえで、日々の生活や我が子への接し方、言葉のかけ方を考えさせられる良い時間となりました。・子どもを褒めてあげるには?お手伝いをしてもらうことで様々な場面が増えて、褒める機会が増える。なるほど、と思いました。昨年に引き続き、幼稚園の保護者さんと関わる機会を得ることが出来ました。

• 3月12日(月) アートリンク事業報告会

主任生活支援員 和田 真由美

今年度は、新しい作品を創る事から少し離れ、「より深める」をテーマに一年間取り組みました。以前デザインしたTシャツに別の利用者が自分のテーマに沿って、描く、塗る、付ける等で世界に1枚のオリジナルTシャツが沢山完成しました。色々な個性が溢れ出る素敵な作品を通じて、利用者の個性も作品という形に残していくたいと思います。



地域とのつながり

三渓小学校 清掃ボランティア 感謝のつどい

2/28
(水)

毎月、清掃ボランティアに来校してくださるウインドヒルの皆様。ピオトープ周辺を清掃してくださっています。自然いっぱいのこの場所は、春から夏にかけてはたくさんの草、秋から冬にかけてはたくさんの落ち葉と、一年を通じて手入れが必要な場所です。子どもたちも毎日、掃除をしていますが、それでも追いつかない時期があります。そんな時に、ウインドヒルの皆様方の丁寧な作業によって美しい自然が保たれています。いつもありがとうございます。



三渓小学校 葛西 秀樹 教頭先生



感謝のつどいに招待されました

清掃ボランティア。毎月行っています。

2/4
(日)

三谷地区一斉清掃

今年は朝から雪にみまわれ、厳しい状況でしたが、保護者、利用者他21名の参加があり、皆口々に「雪すごいね」と言いながら、清掃に励みました。自治会の方々から、笑顔で感謝の言葉を頂き、三谷地区の一員だという事を感じました。

保護者 岩部 和子



第11回 みたに駅伝

2/10
(土)

年に1回香川県内の小学生駅伝チームが参加し、三谷三郎池周囲を走る駅伝大会が開催されています。地域貢献・地域との関わりを大切にという想いで、昨年よりランナーの誘導や安全確保の為のボランティアとして参加。今年も職員7名参加し、一生懸命走る小学生の姿に逆に元気をもらいました。

主任生活支援員
鎌田 泰明



発達障害啓発活動(香川県立図書館展示)

2/5
(月)



毎年4月2日国連が定めた世界自閉症啓発デーに先駆け、初めて香川県立図書館で啓発活動を行いました。発達障害について、一人でも多くの方に理解を得てもらえる機会や場面が増えている事を願っています。

生活支援員 和田 真由美

畠本さんちのブロッコリー収穫

4/12
(木)

三谷町にある畠本さんの畠にブロッコリーの収穫に行きました。ご夫婦の温かな笑顔に迎えられ、いざ、畠へ!大きな葉の中にある緑色のつぼみを一つ一つ大切に収穫しました。コンテナが一杯になり満開の藤棚の下で喜びのポーズ!後日、ウインドヒルのみんなで美味しく頂きました。楽しい体験をありがとうございました。

生活支援員 谷本 展恵



ご寄付をいただきました。

～暖かなお気持ち～
ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします。

後援会様より



収納棚2セット、ベンチソファー

親切会(HITACHI)様より



自動掃除ロボット、スティッククリーナー

チアフルカンパニー森口様より



五月人形

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

(敬称略・順不同)

◆個人会員 平成30年度 平成30年2月1日～平成30年4月30日

堤 健	千代美知子	三好美千代	松下 静江	樋谷 鎌田	学 泰明	松原 白井	廣 麻子	松原 安倍	正子 晶子	松原 寒川	健太 妙子
堀 仁美	金川 謙二	金川 恵子	金川 大介	土居 一郎	良助 和孝	土居 東川	里美 康子	村上 深井	美一 恵徳	高嶋 後藤	誠三 親子
和田 則昭	和田真由美	福岡 茂雄	土居 石丸	大西 規子	輝明 哲	石丸 北條	康子 浩三	真鍋 谷川	康徳 愛	瀬谷 森	三子 之人
湯浅美智子	村尾スミ子	和泉久美子	藤岡 剛	田中 山本	行春 美代子	山本 杉崎	竹野内政子	元木 博之	玲子 博	谷川 ヨシ子	聰 克幸子
坂本 厚子	河田 美紀	高橋由佐子	高木 春美	鹿野 榮子	三好 智子	杉崎 行春	神前 武宏	真鍋 前田	一徳 愛	鈴木 森	三子 之人
村山 昌	吉村繁三郎	吉村繁三郎	宮武 宏	宮武 孝宏	三好 勉	智子 幸市	幸田 加津子	伊賀 宏文	玲子 浩子	水本 三谷	弘 善則
松下 学	松下 綾子	松下 綾子	山縣 千恵	山縣 千恵	済木 玲太朗	幸市 真一	加津子 伊賀	友紀 安部	勝博 勝夫	岡 愛川	弘 康子
田岡 晃平	田岡 博雄	田岡 博雄	田岡 千恵	田岡 千恵	木玲太朗	木玲太朗	伊賀 宏文	竹田 竹田	俊夫 洋志	熊 猪	子 晃子
鈴木 裕子	鈴木幸太朗	鈴木幸太朗	鈴木裕太朗	鈴木裕太朗	済木 瑠太朗	木玲太朗	神前 武宏	藤田 竹田	裕介 和子	田 片桐	和子 正晶
佐竹 勝利	津嶋 活至	津嶋 活至	三好 悅子	済木 瑠太朗	済木 瑠太朗	木玲太朗	幸田 加津子	藤田 竹田	和子 千賀子	大 宮	秀子 晃子
山本 和市	石元 信子	石元 信子	藤田 共子	西形 稔	済木 瑠太朗	木玲太朗	加津子 伊賀	美代子 竹田	峻夫 洋志	宇地 大川	弘 子
和田 龍兵	宮崎 成	宮崎 成	中野真貴子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	伊賀 宏文	美代子 竹田	和子 育介	和田 大橋	和子 光政
松川 愛子	伊豆野美代子	伊豆野美代子	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	宏文 安部	美代子 竹田	和子 千賀子	京子 新名	代 義隆
松原 鑿	馨	馨	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	安部 友紀	美代子 竹田	和子 千賀子	和田 大橋	和子 義隆
佐光 昭二	宮崎 昭子	宮崎 昭子	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	友紀 安部	美代子 竹田	和子 千賀子	京子 新名	和子 義隆
片桐 泉	小山美千代	小山美千代	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	和田 大橋	和子 義隆
安原 真理	富田 ト工	富田 ト工	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	京子 新名	和子 義隆
吉田 竜平	児玉 慶子	児玉 慶子	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	和田 大橋	和子 義隆
山西 明	細川 恵可	細川 恵可	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	京子 新名	和子 義隆
岩部 雅人	石田 恵美	石田 恵美	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	和田 大橋	和子 義隆
計野浩一郎	山下真理子	山下真理子	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	京子 新名	和子 義隆
新名 義弘	森 正幸	森 正幸	黒田 寛子	安西 秀雄	済木 瑠太朗	木玲太朗	竹田 竹田	美代子 竹田	和子 千賀子	和田 大橋	和子 義隆
	(株)共同ガス										

◆団体会員 平成30年度 平成30年2月1日～平成30年4月30日

(株)たまも	(株)トミタ	アイ・プロジェクト	(有)高松機械	(株)一陽パック	(株)生コン輸送	田中電気保安管理事務所
株)遠藤米穀酒店	(株)ムーミー	大成ダンボール(株)	(有)晴天	自由民主党香川県第一選挙区支部	(有)香南鉄筋	
(有)高島産業	株)百十四銀行空港支店	(株)合田工務店	香川トヨペット(株)	アカマツ(株)高松営業所		

平成30年2月1日～平成30年4月30日現在、以上の方々にご継続及びご入会頂きました。平成30年5月1日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させて頂きます。本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とグループホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にした理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき、「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

年会費	個人会員 一口 3,000円	団体会員 一口 10,000円
ご入金方法	郵便振替 口座番号 01690-3-74305	口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました。

編集後記

今年度最初のポム・ド・パン会報をお届けします。各ユニットの新年度の目標はいかがでしたか?それぞれの素晴らしい目標を目指して一進一退、でも確実に一步ずつ、目標に向かって進んでいきたいと思います。